



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題 「世界とともにワイズメン」 “Y's Men with the World”
 アジア地域会長主題 「100年を越えて変革しよう」 “Make a difference beyond the 100th”
 西日本区理事主題 「未来への挑戦」 “Challenges for the future”
 中部部長主題 「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」
 金沢クラブ会長主題 「奉仕活動の輪を広げよう」

2021 12 月間強調 CE H

今月の聖句

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は「神は我々と共におられる」という意味である。

マタイによる福音書1章23節

12月例会プログラム

とき 2021年12月16日 (Thu.) 18:30~20:30

ところ ホテルトラスティ金沢 香林坊

会費 ¥4,000(会員は無料) ¥3,000円(メット)

司会 伊藤仁信君

開会・点鐘 山内ミハル会長

主 題 司 会 者

ワイズソング 一 同

ゲスト紹介 山内ミハル会長

讚美のとき

讚美歌 109番

聖書 ヨハネによる福音書1章18-25節

説教 白銀教会 石井和典牧師

讚美歌 112番

会 食 食前の感謝 司 会 者

ハッピーバースデー 山内ミハル会長

委員会報告 各 担 当

ニコニコタイム 幸正一誠君

YMCAの歌 一 同

閉会・点鐘 山内ミハル会長

会 長 山内ミハル 会 計 幸正 一誠

副会長 数澤輝夫 メット会長 伊藤 悦子

伊藤仁信 中部メット主査

書記 西 信之 数澤 淑子

11月強調月間

「お互いに共に愛し合い、奉仕しましょう。」ワイズの活動は、愛をもって、奉仕活動することです。奉仕される人を思いやり、寄り添い活動しましょう。

川口恵 クリスチャニティー委員長 (名古屋)

2022年はワイズメンズクラブ国際協会の創立100年です。先人に思いをはせるとともに、新たな歴史を築いていきましょう。

濱田勉 ヒストリアン (奈良)

11月クラブ活動状況

第1例会 (11月18日 Thu.)

メ ン : 伊藤、数澤、幸正、西、山内 (5名)

メネット : 伊藤、数澤 (2名)

メキャップ : 吉川 (1名)

ゲスト ; 前田氏、松田氏、北村君、皆森氏 (4名)

第2例会 (11月5日 Thu.)

メ ン : 伊藤、数澤、山内 (3名)

メネット : 伊藤、数澤 (2名)

ニコニコタイム

9,000円

クラブファンド

累計 134,250円

BFポイント

切手 200g 累計 350g

現金 0円 累計 0円

第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30~20:30

ホテルトラスティ金沢香林坊 Tel (076-203-8111)

第二例会 : 毎月1日 17:30~20:00

金沢ニューグランドホテル 2F (蔵) Tel (076-233-1311)

思い付き

伊藤 仁信

今年の暦も残り僅かになり、唯々馬齢を重ねてきた私には忸怩たる思いで一杯です。そんな気持ちでいるときの11月上旬のある日のことでした。その日があまりにも小春日和的な気持ちの良い日だったので、気分転換にドライブでもしようと思い家のメネットに声を掛けたら、いつもの通り予定の仕事が一杯なので行かないとの返事だった。あまりにも天気がいい日だったので少し強引に誘ったら、日帰りでしたら天気も良さそうだし行きましょうと珍しく返事が返ってきました。いつもですと説得するのに、もう少し時間が掛かりましたが今回はいつもより早く返事が来たので、車の清掃や古い地図などかき集め気分が変わらないうちにと早々に我が家を出発しました。これがいつもの反省の原因を作ることになるのですが勿論その時はまだ判りません。

名古屋や滋賀県などにはよく行ったのですが、大半は福井県を通過していたので隣県で近いので福井県に行ってみようと思い、北陸自動車道の西ICから福井方面に向かって走りだしました。福井ICで一般道に降りてからの予定や新型コロナ対策の注意などいろいろ話しながら走っていたら、福井ICを通過してしまっただけで北鯖江PA近くまで来たので取り敢えず喉も乾いたし休憩もしたかったのでそこに入りました。地図等も新しいのを手に入れ、これからの予定を確認し出発しました。

昼食は南条SAでとり敦賀で一般道に降りて、そこから10年くらい前に行ったことのある三方五湖方面に向かいました。道路標識通りに行ったのですが、27号線は前と違い有料並みの道路でしかも直線が多く大変快適でした。三方五湖を半分くらいめぐりましたが大分日も落ちて風も少し強くなってきました。湖面を見ると小さな三角波が出始め夕日がそこに映り、ちょうど金波、銀波がキラキラと輝きながら私達を招くように踊っていました。誘われたら大変なので二人で車をシッカリ握り、茫然として我を忘れ眺めていました。ほんの一瞬の自然現象だったと思いますが、何時間もそれを眺めていたような気がして心が洗われた

ようでした。家のメネットが突然写真と叫びましたが、時すでに遅しで後で見ましたら、ただの薄暗い湖面が写っているだけでした。私としては一生(残り少ないが)の不幸で非常に残念でした。

大分ここで時間を使いましたので夕暮れなので、私の好きな名物の「へしこ」をまた、私達の婿殿には地酒を道の駅(前述の現象を聞いたなら年に何回かはあるそうです)で買って帰路につきました。私達は今回の行動について「思い付き」は、無計画の計画だと反省しております。道に迷ったことなどまだ残っておりますが、私達は何遍も同じ事を繰り返しては失敗してきましたが、バカは何とかと言います。何歳になっても治ってないことを併せて反省しております。しかし「長い人生、素晴らしい事の一つ二つは必ずあります」。

【11月例会報告】

11月18日(木)、「ホテルトラスティ金沢香林坊」のプライベートルームにおいて、11月例会が開催されました。参加者は11名で伊藤ワイズの司会により、プログラム通り進められました。Happy Birthday では、今月生まれの北村君に山内会長からプレゼントが贈呈され、ハッピーバースデー♪を歌ってお祝いしました。

続いて楽しい会食ですが、コロナ禍のため美味しいディナーも黙食で静かな食事タイムでした。その後、講師松田隆一氏の卓話資料として「レオナルドの《人体権衡図》の解説」が皆さんに配布されました。「私が興味を持ったこと、興味を持っていること」と題して、楽しい学びのひと時を過ごしました。松田氏より次のように卓話の概要を頂きました。



私、松田隆一はこの街でリタイア後外国人案内のグループに属しつつ、趣味に浸ったような生活をしています。以前より絵画・彫刻・クラシック音楽を好み、学生時代憶えた西洋絵画を実際に見る機会を望んでいました。NTT 研究所に所属した40代初め、研究発表の際にロンドンを訪れ、憧れのゴヤのポルセル夫人の肖像画を見ました。

日本の仏像彫刻はインド発祥の仏教がユーラシア大陸の端の日本に到達し、日本人の感性と相まって世界に冠たる美術に結晶したと思っています。フェノロサが絶賛した聖林寺十一面観音像、東大寺の塑像日光・月光菩薩像が挙げられます。

戦国・幕末の歴史に興味があり、信長・秀吉・家康の三英傑のエピソードがあります。秀吉と家康は小牧・長久手の戦いで直接対決しましたが、結局家康は天正の大地震の天災に救われたと言えます。幕末では、この金沢の地に初めての外国人、英国からの通訳アーネスト・サトウとA・B・ミットフォードが訪れました。

趣味の一つに能があります。ここ金沢は過って藩主前田家がお細工衆に謡を奨励したために、武家社会崩壊後いち早く能が復興した街であり、夏・冬の観能の夕べ等現在もっとも鑑賞に適した街とも言えます。

レオナルド・ダ・ヴィンチとドストエフスキーのサイト(*)を書いています。前者は2018年画聖の研究で金沢美術工芸大より博士号を授与された向川惣一氏の論文の抄録を書いています。後者は今年生誕200年で、読書会を開き、自己流のまとめを書いています。

(*) <http://leonardmukai.xsrv.jp> と <http://dostoef.info>

その後、委員会報告等が行われ、山内ミハル会長の閉会点鐘で例会を閉じました。参加者全員の記念撮影を行い、それぞれ家路に着きました。(数澤 輝夫記)



【12月第二例会の報告】

日時 12月2日 17:30~20:00
場所 金沢ニューグランドホテル カトレア
出席者 伊藤メン・メネット、数澤メン・メネット
山内メン
議題 ① 12月クリスマス例会について
説教者、参加者、プログラムについて話し合い、決定しました。
(文責 山内ミハル)

~~~~~お知らせ~~~~~

☆ 新年会について

コロナ感染者が0名の日が続いています。このままの状態が続くようならば、下記のように新年会を行います。

日時：2022年1月24日(月) 18:00~
場所：未定(追ってお知らせします)

☆ 金沢クラブ創立75周年記念例会について

2022年は金沢クラブ創立75周年になります。下記の様に記念例会を行う予定です。
日時：2022年9月24日(土) 13:30~
会場：金沢ニューグランドホテル
※この日は、中部部会と同日開催となります。

☆ 個人消息

幸正一誠君が椎間板ヘルニアのため療養中です。右足の痛みのため、夜もよく眠れないそうです。御加祈をお願いします。

Happy Birthday

該当者はありません



坪庭のシンボル

わが家の庭は坪庭と自称しておりますが、庭でなく単なる空間でただ隙間があるからそこに花木を植えてきたのと、自然に生えてきたのが入り交じっているのが現状です。それでも救われたのは、樹齢5～60年位の松の木が玄関口と坪庭を隠すように鎮座ましまし、坪庭のシンボルとして庭らしく見せてくれました。

主人は、松葉の一本一本まで自己流ですが春、夏、秋、冬と剪定し整枝していたので、「盆栽を大きくしたようだ」と通行人（近所の方ですが）も立ち止まって眺めて行かれるほどでした。私も手の届くところは見よう見真似で剪定のお手伝いなどしましたが、主人の傑作の作品だと私が自慢していました。



ところが、数年前から主人は腰が痛いと言い出し、木に登ることが困難になって何とか2年ほど前まで剪定とか整枝することができたのですが、昨年あたりから足も痛み出し全く庭の手入れなどできなくなりました。植木屋さんに剪定を頼みしたら、現状のような剪定だと年2回剪定が必要で1回数万円かかると言われました。それではと娘の庭に移植しようと思ったのですが、これまた数十万円かかると言われました。私達の人生も残り少ないし、主人も入退院を繰り返すようになったので、手塩にかけてきた松の木ですが昨年涙を吞んで伐採してしまいました。近所の方から、移植したのですかと聞かれたので「伐採しました」と言ったら残念がっておりました。

この頃主人は治療の結果順調で、脚立などの高い所

にはまだ駄目ですが、大分動けるようになりましたので何かと助かっています。坪庭も丸見えになってしまいましたので、どうにか簡単に今あるもので何とか取り繕うことができないものか考えてみました。鉢植えは水やりなど管理を小まめにしないと育たないので地植えにしようかと思いつきました。ところが今度は私が腰を痛めてしまい、地植えの準備どころか歩くのもやっとの状態になってしまい、主人の辛さが身に沁みてよくわかりました。



しかし、何時までもそのままにできないので、恐る恐る主人に移植をお願いしたところ快く引き受けてくれたので大変助かりました。物事は土台が大切だとばかり、移植するところの土壌造りから取り掛かっておるようです。しかし、主人に何かお願いすると仕上がりは大変綺麗なのですが、自分が気に入るまで何遍でもやり直すし、気が向くまで何日もそのまま（「頭の中で色々考えている」と言うのですが）、完成がいつになるのか予定が分からない欠点があります。そんな状態なので我が家の坪庭が完成するのが早いのか、腰の痛みが治るのが早いか気長に待つことにしました。

（伊藤 悦子 記）

1月の担当

聖句・祈祷	数澤 輝夫君
ブリテン	吉川與志子さん
	数澤 淑子さん